

第4回 ごみ減量市民会議 会議録	
開催日時	令和3年3月2日(火) 14:00~16:00
開催場所	湖西市環境センター 2階 大会議室
出席者	平井委員長、寺内委員、疋田委員、前田委員、後藤委員 安間委員、藤井委員、松浦委員、岡本委員、鳥居委員 (順不同)
事務局	川上環境部長、山本廃棄物対策課長、木下課長代理、三浦、橋本、松本
傍聴者	1名(報道関係者)
会議概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 前回の議事録の確認</li> <li>3 質問回答</li> <li>4 委員長あいさつ</li> <li>5 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 家庭系ごみの減量について</li> <li>(2) 事業系ごみの減量について</li> </ul> </li> <li>6 その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>○第5回 開催日時 令和3年6月1日(火) 14:00~</li> <li>○事務局からの連絡事項</li> </ul> </li> <li>7 閉会</li> </ol>
記録の方法	発言者の要点記録

## 1.開会

## 2.前回議事録の 確認

(意見・質問はなし)

廃棄物対策課長 前回会議の議事録について、修正の申し出は特にありませんでした。

## 3.質問事項

(意見・質問はなし)

廃棄物対策課長 前回の会議後に寄せられた質問はありませんでした。その他分かりにくかったことなどでも構いませんので、今後も遠慮なくお申し出ください。

## 4.委員長あいさつ

委員長 本日は足元の悪い中お集まりいただきありがとうございます。  
ごみ減量市民会議も早くも今回で第4回になりました。本日は家庭系ごみ、事業系ごみについての議論になります。事務局から事前に配布されている質問シートを基に皆様の意見を聞いていきたいと考えているので、よろしくをお願いします。

## 5.議事

### (1) 家庭ごみの減量について

委員長 議事(1)について事務局から説明をお願いします。

事務局 《資料4-① p1～p4に基づき説明》

委員長 事務局の説明にあったように、一般廃棄物の処理責任は自治体にあり、各自治体の定める処理計画に沿って適切に処理することになっています。ごみの種類は排出方法によって、産業廃棄物、事業系一般廃棄物、家庭系廃棄物に分けられるということでした。これをふまえ、生ごみ、食品ロス、紙ごみについて質問シートに基づいて順番に意見を聞いていきます。まず、生ごみの処理について心がけていること、ごみ減量への取り組み案などについて意見ををお願いします。

委員 家では生ごみはなるべく水を切ってから捨てるようにしている。食品を残さないようにしている。野菜くずや芯の部分もできるだけ使うようにしている。

委員 生ごみの水切りなどは特に意識していなかったが、食品ロスへの取り組みが取り上げられていることを受けて、冷蔵庫の食品は期限を書いて保

- 存する。期限内に使い切るようにする取り組みができると考える。
- 委員 畑があるので、野菜の使えない部分は収穫の段階で落として、家から出る生ごみが少なくなるようにしている。
- 委員 生ごみ減量の取り組みについて特に意識していなかったが、水を切るとは意識している。マンション住まいなのでキエーロやコンポストが利用できない。集合住宅共用として設置するにしても場所がない。
- 委員 家の生ごみは100%キエーロで処理している。生ごみ減量の提案だが、リンゴの皮をそのまま食べたり、ブロッコリー、キャベツの芯なども調理の仕方によってはおいしく食べられる。栄養士さんと協力し捨てられる部位を利用したメニューを考案し、広報紙などで紹介するなどはどうか？
- 委員 生ごみは水を切って出している。市で雑紙袋を配布しているということだが、浜松では新聞社が雑紙袋を配布し回収していると聞いたことがある。他には特に思いつかない。
- 委員 家の隣がごみステーションで夏場はにおいがつらい。生ごみに対しての水切りを徹底するよう強く呼びかけてほしい。ごみステーションの状況を見ても生ごみに水分が多いと感じるので水切りについては効果的だと思う。
- 委員 恥ずかしながら生ごみへの意識がなく、妻に任せきりだった。犬と猫を飼っているので食べ物の残り物を食べさせようとしたが、妻に怒られたことがある笑
- 委員長 意見の中で食品ロスという言葉が出てきましたが、最近非常に注目されている問題です。令和元年12月に食品ロス削減推進法という法律までできています。食品ロスとは「まだ食べられるのに捨てられてしまうもの」のことを言います。食品系廃棄物が日本全体で年間2700~2800万トン出ているが、そのうち645万トンが食品ロスだと言われています。皆様が各家庭で食品ロスが出ないように気を付けていることなどがあればご意見をいただけますか？
- 委員 食品ロスという言葉は、消費期限が過ぎてしまった食品だと認識していた。
- 委員長 コンビニでも賞味期限が間近な食品を割引することや、そもそも店頭で食品を並べすぎないように取組をしている企業も増えています。生活の中で気を付けていることなどがあれば教えてください。
- 委員 家では冷蔵庫の賞味期限をチェックする、冷蔵庫に食品を詰め込みすぎないようにしている。
- 使わない野菜は乾燥させて保存し非常食にするなどの取り組みを最近

- テレビで見かけたが、そのような工夫を研究してはどうか。
- 委員 賞味期限であれば消費期限と違って、多少過ぎても食べることができるので、極力捨てないようにしている。
- 委員 食べないと思った食品をフードバンクへ提供をしたことがある。
- 委員長 現在日本の食料自給率は約 37%だが、米が大部分をまかなっています。その他の食品はほぼ輸入であり、温暖化の影響で世界各国の食糧生産に支障が出た場合日本は大変困ります。このようなことも含め食品ロス問題を考えることが今後の市民生活につながるようになります。ここまでで事務局から質問等ありますか？
- 事務局 学校給食の食べ残しを発生させない取り組みなどは何か知っていますか？
- 委員 子どもの学校ではごはんやおかずなど、残した品目の重さをはかって記録していると聞いたことがある。また、子どもが休む時などは 5 日前に言わないと給食を止めることができず、当日のキャンセルはできない。
- 事務局 先程意見の中で、マンションだと堆肥化容器を置く場所がないと意見がありました。台所に置ける電気式のタイプもあるので参考にしてください。
- 委員長 湖西市はキエーロの他に、富士市の開発しただっくす食ん太くんなどは取り組んでいないのですか。
- 事務局 以前試験的に導入したことはありましたが、よい評判ではありませんでした。
- 委員長 皆様ご意見ありがとうございました。続いて紙ごみについて意見をお願いします。
- 事務局 《紙ごみの減量について説明》
- 委員長 先程の事務局の説明では行政回収、民間回収、若干の民間回収があるとのことでした。湖西市は他市と比べ民間の古紙回収ステーションが少ないように感じます。静岡市は、古紙類は民間業者が回収ボックスを設置し回収している。今後このままのやり方を継続していくのかといった観点からも皆様の意見をお願いします。
- 委員 子どもが小学校に通っていることもあり、収益は学校に入るので新聞やチラシは集団回収の際に出すようにしている。雑紙はかさばるので燃やせるごみとして出してしまうている。
- 委員 先の方と同様に、新聞は小中学校の集団回収で出している。雑紙については古紙回収ボックスが近所にあるので頻繁に出せて便利である。
- 委員 いつも子ども会の集団回収の際に古紙を出している。今年はコロナの影響で集団回収が中止になり、かなり溜まってしまった。スーパーの回収

- 場所に持って行くとポイントも付けられるところがあり、子どもも楽しみながらリサイクルに協力できる良い例だと思った。
- 委員 住んでいる地区には民間の回収ボックスがある。宛先票の付いた封筒などの個人情報が載っていないものについてはそこを利用している。
- 委員 個人情報が載っているものは家庭用シュレッダーを購入し雑紙として出している。
- 委員 家庭用シュレッダーを利用して出している。雑誌類については市内に設置されているコンテナに入れている。
- 委員 個人情報が載っているため、燃やせるごみに混ぜられている紙は相当量あると思う。シュレッダーがある家庭は多くないと思うので普及させるために補助金を出してはどうか。
- 委員長 湖西市の商工会加盟員に古紙回収業者はいますか。
- 委員 登録はあります。
- 委員 段ボールは近所の古紙回収ボックスに出している。自治会長をやっていると市からの郵便物が多いので、取りまとめてくれると助かる。
- 委員 2週に1度、新聞や段ボールを捨てに行っている。家庭では新聞とチラシを分けることまではできていない。
- 委員長 グリーン化社会 デジタル化社会に移るにつれ、今後紙媒体は減っていく流れではありますが、紙ごみの減量について考えるよい機会だと思うので意見を出しあっていきたいと思います。他に意見等はあればお願いします。
- 事務局 近年子ども会の集団回収での回収量が減少傾向ですが、実施している方たちの間で何か困っていることはありませんか？
- 委員 今年度はコロナの影響で開催自体が減っている。子どもの人数も減っているが、各家庭から出される量も全体的には減っているのでは作業量が多くて困っているということはない。
- 委員 新居地区では特に回収量が減った感じはしない。
- 事務局 湖西地区では学校単位での回収が多いのですか。
- 委員 だいたい学校単位で集団回収をしているが、最近では集団回収をやめてしまった学校もあるとは聞いたことがある。他の団体の状況は把握できていない。
- 委員 近年セキュリティの関係で子ども会間の連携が取れていないようであ

- り、子ども会に加入しない子も増えている。子ども会としても地域に住む子どもの人数が把握できていない。
- 事務局 子ども会の活動として集団回収の継続は今後も可能と思いますか。
- 委員 各子ども会ごとの実施は難しい。現在活動中の回収を継続することで精一杯で、新たに活動を始めることは難しい。
- 委員長 わかりました。その他何か意見はありますか。
- 委員 粗大ごみの削減について、近年 DIY が流行っているので、市の処理場に持ち込まれる粗大ごみの活用や再利用をすることはできないか。粗大ごみのフリーマーケットのような機会を設けてはどうか。
- 事務局 市では、不用品を活用するためのの窓口を設けていますが、今年度末で終了してしまいます。何か機会を設けられないか、他自治体の先行事例を調査し、検討していきます。
- 委員長 ご意見ありがとうございました。  
続いて事業系ごみについて、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 《資料 4-② p5～p6 に基づき説明》
- 委員長 まず、事業系ごみについて商工会の委員の方からご意見をお願いします。
- 委員 まず、私の事業所について、テナントに入っている事業所なので、バックヤードにごみを置く位置が分けられており、共益費も支払っている。レジ袋が有料化になったことから、顧客がスーパーで配布されている段ボールを利用して持ち帰っている。りんごの発泡スチロールなどは人気でよく持ち帰っているが、このように事業系ごみが家庭系に流れている状況もある。事業系ごみを正しく処理するよう事業所として取り組んでいるが、顧客が要因で増えていることも把握してほしい。  
事業形態によってはごみの減量が難しいものもあり、最終的には各事業所の企業努力しかないと考える。
- 委員 商工会として、デジタル化への移行で紙の削減に努めるよう指導している状況ではある。事業ごみの適切な処理については事業者個別に努力をお願いしている状況。
- 事務局 仕事をされている方の中で、職場でごみの分別のマニュアルや指導はありますか？
- 委員 ごみ処理業者から分別しなくていいといわれたことはある。
- 委員長 県の担当課では、事業系ごみは分別した状態で収集するよう廃棄物収集業者には指導している。小さな商店や自宅兼店舗などは家庭ごみと混合

事務局 して出している事例もあることが他市の調査ではわかっている。  
以前湖西市では事業系ごみ袋を採用していましたが、使い勝手はどうでしたか？

委員 新居町では採用されていなかった。

委員 使用していた記憶はなく覚えていない。

委員長 他自治体では家庭系のごみ袋と色を分け、料金設定を高くしてごみステーションを利用できるようにしている例もあります。

委員長 他にご意見が無いようであれば、本日の会議は終了させていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。

## 6.その他

事務局 (1) 次回開催予定について  
日 時 : 6/1 (火) 14時～  
開催場所: 湖西市環境センター2階 大会議室

(2) 事務局からの連絡事項  
今日の会議内容に関して質問等があれば、3月9日(火)までメールかファックスで受け付ける。

## 7.閉会